2021年度 神奈川県石油コンビナート等防災本部訓練について

資料３

【合同図上訓練】

１　目的

神奈川県石油コンビナート等防災本部を構成する関係各機関による合同図上訓練を実施し、石油コンビナート等特別防災区域における災害発生直後の初動対応の習得・習熟及び関係各機関同士の連携強化を図り、県内のコンビナート防災体制を強化することを目的とする。

２　開催予定日　2021年10月～11月　時間：13:00～16:30

３　会場　神奈川県庁西庁舎７階　統制部室Ｂ（横浜市中区日本大通１）

４　参加機関

県消防保安課、県警本部危機管理対策課、横浜市危機管理室・消防局、川崎市危機管理室・消防局、第三管区海上保安本部、ENEOS㈱根岸製油所、東亜石油㈱京浜製油所、神奈川・静岡地区広域共同防災協議会

５　重点訓練項目

（１）災害対応の初動対応の把握

地震等によりコンビナート事業所で災害が発生した際の初動対応について把握する。

（２）マニュアル類の把握・検証

特別防災区域内において、周辺に影響が及ぶ可能性の高い災害が発生した場合の対応等を定めたマニュアル類の把握と理解に努める。併せて、現状のマニュアル類に対する加筆修正等の必要性を検証する。

６　訓練の実施方法

2020年度に実施した講義形式の訓練内容を踏まえたオープンシナリオでの合同図上訓練（机上訓練）を検討中。

７　被害想定の概要  
2020年度訓練（講義形式）で作成した(１)及び(２)のシナリオ等を参考に、主に(２)の川崎での災害を想定した訓練を予定。

　（１）ENEOS株式会社　根岸製油所

* 原油タンクでリム火災が発生し、全面火災へと発展する。
* 桟橋配管フランジ部から海上へ原油が漏えいし、風により漏えい範囲が拡がる。

（２）東亜石油株式会社　京浜製油所

* LPGタンクからガスが漏えいし、火災となり、爆発の危険性が生じる。

【情報受伝達訓練】

１　目的

コンビナート等特別防災区域における災害発生時に、各特定事業所の被害状況を関係行政機関が迅速に把握・共有する体制を強化することを目的とする。

２　日時

　　2021年８月20日（金）10:00～12:00

※県危機管理防災課が偶数月に実施しているファクシミリ一斉同報試験に合わせて実施

※一堂に会する必要のない訓練であるため、予定通りに実施予定

３　参加機関

　　県くらし安全防災局、横浜市（総務局・消防局）、川崎市（総務企画局・消防局）、各地区共同防災協議会並びにそれに準じる団体（６協議会＋３団体）、各特定事業所※

　※特定事業所は、訓練日の１週間前までに参加の可否を個別に確認する。

４　訓練内容

①　「地震・津波発生時における石油コンビナート施設被害状況等把握マニュアル」等に基づき、各特定事業所が各市消防局を経由して県消防保安課あてに被害状況の報告様式をＦＡＸ送信し、県において取りまとめを行う。

②　「危険物タンクのスロッシング被害予測システム」を用いて、製油所の危険物タンクの実液面高さの入力を行い、二次評価結果メールを県消防保安課等で受信する。

　※対象：ENEOS㈱根岸製油所・川崎製油所、東亜石油㈱京浜製油所（水江、東扇島）